



令和4年 2月 第10号
西方中学校 図書室



寒さがまた一段と増す時期となりました。2月といえば節分！ですが、みなさんは猫の日をご存知ですか？「猫と一緒に暮らせる幸せに感謝し、猫とともにこの喜びをかみしめる記念日」という趣旨で1987年に制定され、2月22日（にゃんにゃんにゃん）は猫の日と定められているそうです。今年の猫の日は「にゃん」がたくさんの2022年2月22日…ということで、猫の日もいつも以上に盛り上がっている様子。図書室にある猫に関する本を読んで、この機会に猫に癒やされたり、生態について学んだりするのもいいですね。

今年度の貸出返却



3年生の最終貸出日

2/18（金）〈 返却日 2/25（金） 〉

1、2年生の最終貸出日

3/7（月）〈 返却日 3/14（月） 〉

借りている本は全て返却してください。
最終貸出日後も、本の返却、閲覧、
学習での利用はできます。

※春休みの貸し出しはありません。

今年度 最後 の移動図書館は、3月2日です

今年度最後の移動図書館は3月2日（水）となります。

この日は3年生も本を借りることはできますが、卒業式までに借りた本を返却できなかった場合、市の図書館に直接本を返してください。

1、2年生は3月15日（火）までに図書室の返却ボックスへ本を入れてください。

次回の移動図書館は **2月 9日（水）** に来校します。

※今後の状況においては、来校日の変更等を行う場合があります。



2月22日（猫の日）オススメの本



100万分の1回のねこ
講談社



谷川俊太郎、江國香織、川上弘美、角田光代らによる、佐野洋子『100万回生きたねこ』へ贈る、13人の作家による短篇集（たんぺんしゅう）。江國香織「生きる気まんまんだった女の子の話」、岩瀬成子「竹」、くどうなおこ「インタビューあんだねこ」、井上荒野「ある古本屋の妻の話」、角田光代「おかあさんのところにやってきた猫」、今江祥智「三月十三日の夜」…など収録。

店主は、猫
台湾の看板ニャンコたち
猫夫人／著
WAVE 出版



台湾の商店街で生きる、看板猫たちと地域の人々の交流を描く。ただの可愛い写真集ではなく、人と猫との交流、猫たちの自然な姿、そして台湾の暮らしぶりを凝縮した一冊。地域猫や看板猫好きは勿論、台湾に興味のある人も必読の一冊。猫好きが愛でながら読書するのもよし、本書を通じて猫と人間の共存の仕方について考えながら読むのもよし……。猫を愛する気持ちは国境を越えても変わらない、ということ伝えるフォトエッセイ。

PICK UP 3 TITLE

誰もがハマる(！?)「いまよむ本」今月の記念日にちなんだ「今月の本」ぜひ読んでほしい「外国の本」「古典文学」… 毎月3つのタイトルで魅力的な本を紹介します。



夢をかなえるソウ
水野 敬也／著
飛鳥新社



美しき小さな雑草の
花図鑑
多田 多恵子
山と溪谷社



通い猫アルフィーの奇跡
ウェルズ レイチェル
ハーバーコリンズ・ジャパン



ダメダメな僕のもとに突然現れたソウの神様“ガネーシャ”。なぜか関西弁で話し、甘いものが大好きな大食漢(たいしょくかん)。そのくせ、ニュートン、孔子、ナポレオン、最近ではビル・ゲイツくん(…)まで、歴史上の偉人は自分が育ててきたという……。しかも、その教えは「靴をみがく」とか「募金する」とか地味なものばかり。こんなので僕の夢は本当になうの!? シリーズ400万部超えの第1弾!

2022年2月4日は二十四節気の立春(りっしゅん)です。春のおとずれをあらわします。前日が節分。暖かい地方では梅が咲きはじめ、この日から春分の日(3月21日)までに初めて強く吹く南風を「春一番」といいます。

雑草なんか見る価値もない。そう思っ
てはいませんか。いいえ。足を止めて手を伸ばし、目を近づけて見てください。雑草の小さな花がこれほど美しく繊細で、しかも個性豊かであることに、きっと驚くことでしょう。

飼い主の老婦人を亡くし、ひとりぼっちになった猫アルフィー。帰る場所もなく空腹でさまよいつけたすえ、とある住宅地にたどり着いたアルフィーは、そこで“通い猫”として生きようと決める。だが訪ねた先の住民はそろいもそろって問題だらけ。世をすねた無職の男に育児疲れの主婦、デートDV被害者——そんな彼らに、いつしか1匹の小さな猫が奇跡を起こす!? 全英絶賛、ハートフル猫物語。



「怖くて眠れなくなる化学」
左巻 健男／著
(PHP研究所 刊)



化学は、化学物質の性質・その構造・その変化を研究する学問。化学物質というと、それだけで危険なものと感じてしまう人もいますが、化学物質は学校で学ぶ理科でさんざんできてきた物質のことです。「身近な化学変化の恐ろしさ」から「化学が巻き起こした事故の恐怖」ひいては「化学物質は人類の敵か味方か」まで…知らなければもっと怖い!? 危険すぎる化学のはなしを紹介します。

「小さい選手が大きい選手に勝つためのバスケットボール・スキル」

富樫英樹／監修
(マイナビ出版 刊)

「小柄な選手はバスケットボールで活躍できない?」身長が高い選手のスポーツというイメージがあるバスケットボール。本当に小柄な選手は向いていないのでしょうか。本書では、大きな選手に勝つためのテクニックや練習方法、戦い方を豊富な写真を使って解説しています。小柄な選手が勝つための詳細なアドバイスは、皆さんが試合で活躍するための大きな助けになるはずです!

「枕草子いとめでたし!」

天野慶／著

(朝日学生新聞社 刊)



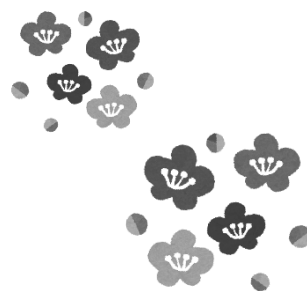
『枕草子』は、今から約1000年も前の平安時代に、「清少納言」と呼ばれる女性の書いた「エッセー(随筆)」です。雨上がりのクモの染のきらめき、暑い日の氷の冷たさ、嵐のときの風の心地よさ。それから春の夜明けの美しさと、大好きな人への気持ち。そんな、清少納言さんが見つけたたくさんの「いとをかし」や「いとめでたし」のものや人たち——。それらを通じて、現代を生きるみなさんに1000年前の世界へと思いをはせてもらえたらうれしいです。

「最果てのパラディン I 死者の街の少年」

柳野かなた／著

(オーバーラップ 刊)

かつて滅びた死者の街…人里離れたこの地に一人の生きた子供、ウィルがいた。彼を育てるのは、3人のアンデッド。豪快な骸骨の剣士、ブラッド。淑(しと)やかな神官ミイラ、マリー。偏屈な魔法使いの幽霊、ガス。彼ら三人に教えを受け、愛を注がれ、少年は育てられる。そんな日常の中で解き明かされてゆく、死者の街に秘められたアンデッドたちの抱える謎。善なる神々の愛と慈悲。悪なる神々の偏執と狂気。その全てを知る時、少年は聖騎士への道を歩みだす。



【 そのほかの新着図書 】

- ・学研の中学生の理科自由研究
- ・わくわく科学実験図鑑
- ・食べられる実験図鑑
- ・怖くて眠れなくなる天文学
- ・すごい植物図鑑
- ・もっと美しき小さな雑草の花図鑑
- ・分解する図鑑
- ・文豪ストレイドックス2、3
- ・准教授・高槻彰良の推察3〜EX
- ・都会(まち)のトム&ソーヤ18
- ・ショートフィルムズ
- ・ケーキ王子の名推理 (スペシャルリテ) 4、5
- ・ティアムーン帝国物語2〜5
- ・最果てのパラディン1〜3上
- ・ダレン・シャン6〜10

